



# 鈴の会



会長あいさつ

中島 美智枝

会員の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。今年度は新型コロナウイルス感染症のため、やむなく書面総会という形を取りましたが、大多数の皆様の参加を頂き、ありがとございました。

早速役員会をと思っていました。新型コロナウイルスは殊の外手強く、何もできない日々が続いていました。

八月になって漸く国保連合会事務局の御配慮を頂き、役員会と広報委員会を開催することができました。

役員会では新型コロナウイルスの状況を踏まえ、会員皆様の感染予防のため、今年度の参集型の研修会と地域交流会は開催しない方が適切だと判断しました。「鈴の会」では、オンラインでの研修や交流会は無理。しかし今までの経験だけでは、地域の保健活動に充分寄与することは難しく、新たな研修はとも必要です。

そこでフレイルに関する研修として、昨年受講した「ひざ裏のばし」でお馴染みの川村 明先生の本を、全会員に配布することとしました。また、地域交流会の代替として、会員の皆様から頂いた近況報告の葉書を集約することといたしました。

このような状況ですので、予算どおりの支出とならないと思いますが、御了承ください。

ウィズコロナの時代、日常生活や地域活動において、「しっかりと換気、人との距離は約二メートル、マスクの着用、消毒や丁寧な手洗い」等の新しい生活様式を実践しましょう。

そして保健師として、常に公的機関の情報に関心を持ち、デマや噂に惑わされることのないようにし、何時でも現役世代の支援ができるように、心身共に元気で、この難局を共に乗り越えてまいりましょう。





## 山口県在宅保健師会「鈴の会」 令和二年度 総会（書面）議決の結果報告

今年度の総会は、新型コロナウイルス感染症拡大のため、書面での議決となりました。会員から書面表決書を返送いただきました。結果は次のとおりです。

- 1、返送状況 会員総数95名の内、88名返送
- 2、議案
  - ・議案第一号 令和元年度事業報告  
賛成87 反対0 無効1
  - ・議案第二号 令和元年度決算及び会計監査報告  
賛成88 反対0 無効0
- 3、結果
  - 山口県在宅保健師会「鈴の会」会則第七条第二項に則り、会議案について出席者（回答総数）の過半数の承認が得られたので原案どおり可決されました。
  - 4、意見
    - 書面表決書に寄せられた意見を以下のとおり公表します。
    - 「議案第一号」
      - ・地域交流会では、他の方々が地域でどんな活動をされているのかをつぶさに知れて、とても参考になり、また、楽しい一時でした。
      - 「議案第二号」
        - ・地域交流会は、情報交換ができてよい企画だと思えます。在宅でも皆の生きる姿が見えて勇気づけられます。
        - ・新型コロナウイルスで、人を集める事業を行う時のチェック項目など周知してはどうか。（ホームページ掲載）

## 令和二年度 第一回役員会 令和二年八月二十八日（金）

新型コロナウイルス感染症の影響により、延期されていた役員会（役員は前年度同様）が午前中二時間を区切りに開催されました。事業計画について

・研修会 国保連合会の大会議室は、コロナ禍を考慮し、最大四十人までの収容が可能だが、今年度は開催を中止し、運動、フレイル（虚弱）予防に関するDVDや冊子等を会員に配布することとし、詳細については今後話し合う。

・地域交流会 今年度は中止とする。全員に近況報告を依頼して集約する。  
・災害支援 今年度は取り組まない。

各事業の役割分担を決定  
事務局からの報告事項、連絡で終了しました。  
（三根 豊子 記）



令和二年度第1回役員会

### 令和2年度「鈴の会」役員

役職名	氏名
会長	中島 美智枝(防府市)
副会長	小野原 利子(岩国市)
理事	今川 美由紀(宇部市)
理事	三戸 幸子(長門市)
理事	中川 加津子(山口市)
理事	神代 浩子(周南市)
理事	宮崎 正子(防府市)
理事	池村 伊津美(柳井市)
会計	福島 知子(山口市)
監査	三根 豊子(宇部市)
監査	岡 仁美(萩市)



令和元年度

山口県在宅保健師会「鈴の会」

第二回研修会

令和元年十月二日(水)

講演 「寝たきり0を目指して!!」  
講師 かわむらクリニック

院長 川村 明 氏

川村先生の診療の場で、らくらくと背面ブリッジや開脚動作をしている八十代の人たちの様子が画面に次々と紹介され驚いていると、みなさん、それまで膝痛や腰曲がりがあり長年苦しんできた高齢者たちと聞いてまたビックリです。

先生「ご自身の若い時の闘病体験から編み出したヨガによって、からだが柔らかくなり、体はもちろん心も元気になったということですよ。」

そのなかのひとつが「ひざ裏のばしー!」下半身の筋肉の多くが膝とつながっており、膝が曲がると膝の裏がかたくなり姿勢が悪くなります。膝裏を伸ばすことで、まっすくの立位姿勢になり、しかも、気持ちがよくなり心が前向きになるといふことです。



講師 川村 明 氏

一日一回「ひざ裏のばしー」の四つの基本ポーズ!!

1. 壁ドン

①壁に両手をつき、足を前後にひらく

②息を吐きながら

ら壁を五回押す  
③壁をぐーっと押して五秒キープ(足をかえて同様にー)

2. 壁ピタ

①壁に背中をつけ、足先を九十度にひらく。手のひらは壁にく。

②膝を寄せて息を吸う

③手のひらを返して息を吸い五秒キープ

3.

1・2・3体操

①足を腰幅より広げて立つ

②息を吐きながら、腰を下げて太ももを三回たく。息をしっかりと吐き終わったら、ツーン・スリー」と

声を出す

③息を吐きながら、立ち上がったおしりを三回たたく。終わったら、ツーン・スリー」と声を出す

4. アオサギ

高齢でも体に痛みがあっても手軽にできる

①片方の足指の付け根にタオルをかける。

②足をのばして五秒キープ(足をかえて同様にー)



日本は世界有数の長寿国です。しかし平均寿命と健康寿命の差は、男性が9・13年、女性が12・68年(二〇一六年厚労省)つまり、介護に依存せざるを得ない期間なのです。高齢者が寝たきりになるきっかけは、体の麻痺、骨折、関節痛、腰痛、風邪で寝込むことなどですが、これらは食事とあわせて運動で予防が可能なのです。かわむらヨガメソッドの三つの条件「①簡単②楽しい③継続可能」で、たくさんの方が元気を取り戻していきま

(三戸 幸子 記)



講演 「知って得する防災あれこれ」  
講師 山口県在宅保健師会「鈴の会」

会員 神代 浩子 氏  
池村 伊津美 氏

台風は水や食料、周囲の片付けなど準備できず、地震はいつくるかわからないため「まだ大丈夫」という気持ちもあり備えに「自信」がありません。

災害が少ない印象の山口県でも過去に災害は沢山ありました。山口県災害教訓事例集（ネット検索）や図書館でも細かく知ることができます。一九八七年十一月山口県中部地震、一九九七年六月山口県北部地震、二〇〇



講師 神代 浩子 氏  
池村 伊津美 氏

一年三月芸予地震は記憶にある災害です。一七〇七年の宝永地震の四十九日後、富士山が噴火したそうです。一八五四年の安政南海地震から一

五〇年が経過し、最近では複合災害の危機も言われています。

何処に住んでも安全ではない今日、命を守るための備えが大切です。知ってはいるけど、いざという時にはなかなか行動できないものです。



1. 自宅の家具の配置
2. 自宅周辺の避難場所の周知
3. 外出先での非常口、避難階段の場所の確認
4. 初期消火の基本を身につける
5. 非常持ち出し袋の用意

…など身近な人に繰り返し返し、健康問題と合わせて伝えることは「鈴の会」の役割の一端ではないでしょうか。みなさん「命の水」は用意できていますか。流し台の近くに寝る前にペットボトル一、二本が小さいタンクに水道の水を入れておき、翌日その水を炊事に使うと、常時水の確保が習慣的にできます。夏

は冷蔵庫に保管するといいですね。

地震の揺れがひどい時にはトイレの配管に異常があるかもしれません。すぐに水を流さないようにしましょう。災害時のトイレの使用方法や災害伝言ダイヤル171の使い方も身に付けておきましょう。もう一度研修のレジュメを確認しておくといいですね。災害ダイヤルは体験利用ができます。（毎月一日、十五日、正月三日、防災週間、防災とボランティア週間）。「鈴の会」の防災アドバイスはこの期間を利用するといいですね。

（神代 浩子 記）





会  
員  
通  
信



山口市 佐藤 むつ枝

特集「新型コロナウイルス」

ウイルス禍で」

投稿いただきました。

我が国で初めて新型コロナウイルスによる肺炎の患者さんが確認されたのは、令和二年の一月十六日でした。二月より感染の

拡大が起こり、四月十六日には全国に緊急事態宣言が出されました。学校は休校、休業、外出自粛要請、公共施設が閉鎖され、数々の事業が中止となりました。国から「三つの密を避けましょう」（密閉・密集・密接）、ソーシャルディスタンスなど耳慣れない用語で対策の基本的対処方針が発表されました。緊急事態宣言は五月二十五日、一ヶ月半ぶりに解除されました。新型コロナウイルス感染症が発生してから八ヶ月、未だ終息には至っておりません。コロナ禍において会員の皆様がどのように過ごしておられるのか、取り組んでおられることなど

四月末で退職後、五月はマスクを買っためにスーパー、ドラッグストア、コンビニ通いでした。間が悪いというか、いつ行っても陳列棚は空っぽでした。五月末にドラッグストアを訪れた時のこと、陳列棚が埋まっていたのです。その上数量制限なしです。その後の日記に心境を書いています。

「从退休后的一个月內买找口罩很苦、但现在已经足够了。」（退職してからの一ヶ月はマスクを探すのに苦労した。今では十分足りている。）不安な一ヶ月でした。

緊急事態宣言が解除されてから、趣味活動を再開し三密回避のための新しい生活様式がはじまりました。部屋の使用も距離のとれる広い部屋を使用しています。自粛期間中においては車の通日も少なく、閑まりを感じていましたが、十月一日以後は人通りも多くなり、賑わいがもどりつつあります。一人ひとりが「新しい生活様式」とどう馴染んでいくか課せられています。



柳井市 池村 伊津美

「コロナ禍における  
過ごし方」

令和元年の春「鈴の会」へ入会したころには、世界中に新型コロナウイルスが大流行するなんて想像すらできませんでした。ニュースでは連日のように感染の動向や対応策が報じられ、数々のイベントが中止となり、今まであたりまえだと思っていたことも自由に行えない状況になりました。三密を避け自粛生活を続けていますが、外出時にはマスクが必需品となりました。

マスクも一時期入手困難になり、入荷したと聞くと長い列が出来たり、ガーゼやゴムまで店頭から姿を消しました。とりあえずの対策として、ハンカチやサラシを三つに折り、ゴムやひもで耳に引っかけける方法を採用しましたが見栄がいまひとつ。新聞に載っていたマスク型紙を切り取り、余り布でたくさん作り、家族や友人に配り喜ばれました。そうこうしていると、いろいろな店先に手作りのかわいい物や機能的な物まで出まわり、おしゃれを楽しむこともできる様になりました。



多くの人がマスクを使用するようになったため、道端などに捨てられているのを見かけることもあり、新たな環境問題が発生しています。その点手作りマスクだと何度も使えるのでとてもエコだと思っています。

へたの横好きではありませんが、お家時間を利用して編物や縫物をしています。マスクを始め、孫のスタイやベビー服、おもちゃなどいろいろ作っては孫の反応を楽しみにしています。目や肩が疲れた時には、家事や庭の草引きをするなどして、気分転換を図っています。朝早く目が覚めた時にも無理に寝ようとせず、そのまま起きて続きをしたり、気ままに過ごしています。できるだけ早くコロナが終息することを願うばかりですが、感染予防を徹底し自らもコロナに負けない体力づくりを心掛け、上手につきあっていこうと思います。



池村会員の作品

「物忘れ(?)」 周南市 松田 敬子

夏の夕方、畑の草取り中に、家族から「今日〇〇の会議があるのでは?今電話があったよ」頭の中は真っ白!「エッ何?何?」完全に忘れた自分をどうしてよいのかわからず、着の身着のまま会議に遅れて出席し、平謝り。こんな出来事が最近多くなってきました。

その後二三日は、思い出し落ち込んでいましたが、また似たような出来事が続く今日この頃です。

新型コロナ禍で、行事等が縮小され、以前に比べ、愚痴を言い合ったり、慰め合ったりする機会が、私の周辺では少なくなつたように思います。何気ない日常ですが、変化するとその大切さが身に沁みます。

「おはよう」等のあいさつに始まって、日々の何気ない出来事を話す、そんな日々を大切にしたいと改めて思っています。物忘れ(?)の多い自分に恐怖を抱きながら…



松田会員の作品



「コロナ禍での  
訪問看護」

防府市 原田 真紀

新入会員の原田真紀です。どうぞよろしくお願ひします。現在、訪問看護ステーションで勤務しており、コロナ禍の中、安全に訪問させていただくことの難しさに日々直面しております。自身の健康管理の徹底に努めてはいますが、自分が感染源になつてしまわないかという不安が襲つてく



ることあります。正しい知識をもって感染対策をし、ウイルスを恐れ過ぎることなく、しっかりと予防していくことが大事だと自分に言い聞かせています。また、利用者様やご家族の気持ちに寄り添いながら、感染対策の協力をお願いすることも大切だと感じています。感染防止の観点から訪問中止や訪問時間の短縮をお願いする場合があります。心苦しくなりますが、理解していただけるよう、丁寧な説明を心掛けるようにしています。

ICT（情報通信技術）の活用や地域内ネットワーク構築等、対応は待ったなしですが、このような時だからこそ笑顔を忘れずに心を通わし、コロナ禍を乗り越えていきたいと思えます。



「私のコロナ体験」

防府市 渡邊 壽

要介護五の判定で某施設へ入所していた実母。毎日、夕食の介助に通っていたこと

ろ、令和二年三月二日に「面会禁止」の立札。それからは、週二回の入浴日に玄関先で、洗濯物のみ交換となりました。四月の末になって「体調が優れず食も進まないの」と特別に面会許可。二ヶ月の間に目の輝きは失せて、持参したアイスクリームを五匙飲み込み無表情のまま涙が頬を伝いました。それから三週間後九十五歳の生涯を閉じました。淋しい最期でした。

この度のコロナ禍は、家族と面会もできず他界されたり、入院生活を送る方、悲惨な事態でした。また、医療関係の方々も心労の多い毎日だったと推察いたします。

一方、先日、某新聞の見出しに「世界はウイルスに満ちている」とあり興味を持ちました。ウイルス研究の現場ではウイルスを一網打尽に見つける技術が普及し、私達の生活空間にたくさんウイルスが存在していることが分かったそうです。今回の新型コロナウイルスもその一部で、生体にとつて害を及ぼすウイルスであったため、感染拡大に繋がったと報告されていました。健康な人の体内にも数種のウイルスの存在があり、強い痛みと発疹で発病する「帯状疱疹」も免疫の低下した時、神経節に潜むへ

ルペスウイルスが原因で、突然暴れ始めるのです。また、感染しても目立った病気を起こさないこともあり、ウイルス感染症対策は、ウイルスを熟知することが先決だと結ばれていました。

日常生活が、全て自粛ムードの中ですが、結局原点に戻り、手洗いの励行、生活を正しソーシャルディスタンスを保持し、自分らしく暮らしていくことにしました。人と繋がりがながら周囲に感謝を忘れずに。この先不測の事態に遭遇し、孤独な死を迎えようとも、享受する覚悟をしなければと今回のコロナ体験を通じて学んだ次第です。



「不安な二週間」

宇部市 三根 豊子

小学校の短い夏休みが終わる頃、県内にいる孫二人が泊すると訪れた。遊びに連れ出す所がないので公園のアスレチックなら、人も少ないだろうと孫二人と我々夫婦の四人で炎天下の中を出かけた。



孫達が、汗だくになりながらも運動器具の一つ一つを興味深く楽しむ姿を見て、我々も年の事を忘れて加わったが、腕力、足力は全くなく、孫を気づかうでなく、我々が互いに「大丈夫」と声を掛け合う情けなさであった。

その後、食パンを持って鯉や亀の工サヤリに行き、工サヤリのへたな亀の工サヤリに夢中になり、方向や場所を変えるなどの工夫をする孫達と楽しく遊んだ。

「帰ろう」と駐車場へ向かいながら「暑いね」と木陰を求めて歩きはじめた時、孫と「かき氷」を食べる約束をした。公園の店で、高くつまれた「かき氷」を「おいしいね」、「涼しいね」と口にしながら、私には多くて食べきれない。自分に余裕が出て来ると、あれ？店員さんマスクもさされてなかったし……といろいろ考えはじめた。

コロナに感染するのではと不安になってきた。口の中を真赤にしている孫たちには多すぎる、主人にはそのくらいでと食べることを止めさせ、急いでアルコールで手指消毒をさせ、お茶を飲ませて帰途についた。

二週間は孫達が何か言ってこないかと毎日心配であった。何もなかったこの夏、

自分の高揚した気持ちと開放感の中での行動を考えると、感染防止は一人ひとりにあることを改めて考えさせられた。



「退職後の私の生活」

山口市 福嶋 啓子

春からコロナ禍の影響で全国的に自粛生活が続いています。私はというと、コロナ禍にはあまり左右されない日々を送っています。

夫は、退職後は家庭菜園と果樹栽培に精を出しています。果樹は山間地の両方の実家に分散して植えています。今では、どの果樹も大きく成長して沢山の実をつけるようになりました。

当初は、植栽に反対していた私ですが、実が成ると放っておく訳にもいかず、収穫後の加工は私が引き受けています。

春の筍掘りに始まり、五月には甘夏、六月には百本近くある梅の収穫をします。併行して梅酒や梅味噌、梅ジャム、梅の塩漬け等をつくりまします。

梅のあとは、スモモを収穫し、スモモジャム、スモモ酒づくり。真夏になると梅の土用干しが始まり毎年三十キロの梅を漬けています。

秋は栗拾い、干柿づくり、冬にかけて柑橘類の収穫をします。初冬には柚子ジャムや一年分の柚子果汁を搾ります。八朔の収穫のあとは金柑の甘露煮をつくりまします。

菜園でできた大根は、しょうゆ漬けや酢漬けにし、春まで数回漬け込みまします。

友人達からは、果実は地元の朝市に出荷するよう勧められますが、婚家の祖母が「日頃お世話になっている方へ」と言っていたのを今も守っています。

楽しみと言えば、地域の方々と太極拳を続けていることです。退職後に知りあった皆様との交流は新鮮で就労していた頃とは違った気付きも多く私の活力となっています。農産加工と太極拳と仲間達の笑顔に励まされて過ごせるご縁に感謝の毎日です。







「新型コロナウイルス  
感染症電話相談に  
携わって」

萩市 田辺 友子

国保連合会の森相談役からの電話で、五月から二ヶ月間、月十一日、保健所の電話相談の仕事を受けました。

世の中コロナ、コロナで騒がれて、毎日朝から夜までテレビで様子が伝えられています。

しかし、いざ出勤となると早起き、弁当作り、通勤服などいろいろ気になります。出勤してみると何人か知った職員もあり、少しホッとしました。

最初の電話相談をこなすと、自然に電話に手が出るようになりました。萩は陽性者が出ていないので、そんなに相談件数はないだろうと思っていましたが、それでも続けて電話がかかります。一般の人や医療機関、施設関係者、行政など相手はいろいろです。

内容は、熱が出たから医療機関を受診したい、どうしたらいいか？PCR検査を受けたい。里帰り出産したい。もし発熱した時、医療機関に行く時はどうして行ったらいいの？。保健所としてすぐに回答が出せるように用意しておいてほしい等々さまざま

までです。感染症担当に相談しながら、相談者に寄り添うように対応しています。

やっと二ヶ月が過ぎる頃、まだまだ終息しそうにないので、令和三年三月まで継続することになりました。しかし、その後県の専用相談ダイヤルができた、コロナ関係の相談は自動的に専用ダイヤルに回されたりと、体制が変わってきました。感染者の出ていないところでは、悩みながらの相談です。

楽しみな外食もできず、温泉にも行けず、友達とも会えず、心のリフレッシュができません。一日も早くコロナ騒ぎが終息することを祈っています。



「コロナに想う」

萩市 品川 豊美

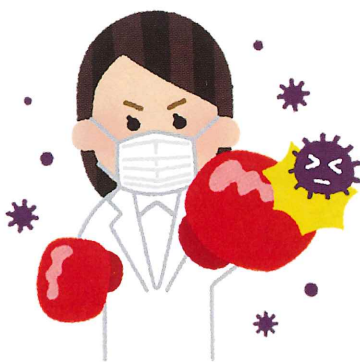
社会全体がコロナ感染症によって、何だかギスギスしているように感じます。

クルーズ船での患者発症、小中高校の一斉休校、緊急事態宣言と、あつという間に自粛生活が始まりました。特に志村けんさんの死亡が報道された時、「私も感染したら死ぬのかも！」と背筋が寒くなる思い

でした。物を片付けなくては…と始めても、長くなると飽きてしまい、予定のないカレンダーを見ながらだらだらした毎日を送っています。そんな私と比べて、懸命に頑張る保健所や保健師の報道には頭が下がりました。

「PCR検査」「エクモ」「三密」「ソーシャルディスタンス」「外出自粛」「テレワーク」「オンライン」「リモート」「テイクアウト」…等、聞き慣れない言葉も頻回に使われ、耳慣れてきました。新しい生活様式が徐々にあたり前になっていくなかで、コロナウイルスのいない以前の日常がなんと素晴らしい日々だったのだと思います。

制限付きで社会が動き始めました。私の周囲でも行事等が再開してきています。ウイルスは隣にいたいながら、今後の生活を楽しみたいものです。





# 地域交流会

地域	開催日	場所	参加人数	担当会員
防府・周南 下松・光	令和元年 11月16日(土)	周南市シビック 交流センター	会 員：12名	宮崎 正子 神代 浩子
山口	令和元年 11月22日(金)	山口市小郡地域交流センター レストラン「フィオーレ」	会 員：10名	中川 加津子 福島 知子
長門・萩	令和元年 11月23日(土)	萩総合福祉センター	会 員：10名	三戸 幸子 岡 仁美
下関・宇部 美祢・山陽小野田	令和元年 11月30日(土)	ナチュラルグリーンパークホテル 1階レストラン「象石」	会 員：7名 非会員：2名	三根 豊子 今川 美由紀
岩国・柳井 周防大島	令和元年 11月30日(土)	藤井会員宅	会 員：5名 非会員：1名	小野原 利子 池村 伊津美

## 防府・周南・下松・光地域

### 参加者の感想

- ・「鈴の会」の参加も難しくなる(運転ができなくなれば)。
- ・研修時等交通手段(時刻など)の記載があればよい。
- ・紙芝居が近くにあれば借り易い。
- ・公的援助(介護)の手の届かない部分に「鈴の会」として介入出来ればよいが会員は多忙で手伝えないので現実。

### 担当者の所感

- ・二回目の交流会を合同で実施したのは意見が幅広く聞けて良かった。
- ・施設は新しく、駐車場も無料で良かった。



## 山口地域

### 参加者の感想

- ・百歳体操の実際が理解でき、指導上のポイントなども教えていただき、参考になった。
- ・会食しながらの情報交換は和やかで楽しく交流できた。
- ・「介護予防」について、もっと内容を深めて欲しかった(認知症の家族の相談を受けているが、どこにつなげたらよいかよく分からない)。

### 担当者の所感

- ・参加者が少なく残念であった。やはり山口市の中心部での開催が望ましいのか。
- ・介護予防事業については「体操」が主となっていたので、不満足と感じられた人があった。今後の計画に活かしたい。





## 長門・萩地域

### 参加者の感想

- ・会員一人ひとりの発言時間が多くあったので、充実した時間が共有できたとの感想があった。
- ・ブロック研修がなくなつての情報交換会、メリットは？との意見
- ・この時を研修にはしたくない。

### 担当者の所感

- ・少人数でゆっくりとオシャレができ、とても充実した一期一会の会を過ごすことができました。担当者も満足しています（心地よい疲労感を味わっています）。



## 下関宇部・美祢・山陽小野田地域

### 参加者の感想

- ・保健師の仕事で経験豊富な方々の話が聞けて参考になった。
- ・懐かしい、楽しい時が過ごせた。
- ・「鈴の会」の講演等は地域で活動するのに役立つている。
- ・年一回程度の集いがあるのは楽しいので機会があつたら声をかけて欲しい。
- ・会員として具体的活動（貢献できる）の場がなければ参加しにくい。

### 担当者の所感

- ・参加者は懐かしく、楽しい時間を過ごしているが、行事があり、参加を迷った時には不参加にするように、親睦会の参加勧奨は難しい。隔年開催がよい。
- ・下関地区から理事としてまとめ役を務めてくださる人が必要。



## 岩国・柳井・周防大島地域

### 参加者の感想

- ・膝うらのばしは大切なことなのでインストラクターになる研修があれば参加し、地域へ広めていきたい。
- ・皆で旅行に行けると良い。現職の時には自主研修としてよく出かけた。

### 担当者の所感

- ・会員さん宅で開催させてもらい、いろいろな意見が出て、とても参考になった。次回は暖かい頃に参加しやすい環境を整えたい。ご主人には大変お世話になりました。





## 事務局紹介

山口県国民健康保険団体連合会  
保健事業相談役 森 和美

令和二年度から山口県在宅保健師会「鈴の会」の事務局を担当させていただいています。今年度はじめから新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、事務局のある山口県国民健康保険団体連合会では、各種の会議や研修会、学会等が中止またはオンラインでの開催を余儀なくされています。

「鈴の会」も同様に、総会の書面開催や研修会の中止などのために、役員以外の会員の皆様には、直接お目にかかってご挨拶をすることもできない状態が続いています。

このような中、健康福祉センターでの新型コロナウイルス感染症の電話相談対応や下関市及び周南市の特定健診受診勧奨へのご依頼について、数名の会員の皆様に電話でお願いした折、突然のお願いにもかかわらず快くお引き受けいただきました。この紙面をお借りして改めてお礼申し上げます。

コロナ禍の状況の中ではありますが、事務局として「鈴の会」のあり方や活動・運営方法などについて皆様とともに考え、より良い会になるよう、取り組んで参りますので、何卒よろしくお願いたします。

## 新入会員紹介

原田 真紀(防府市)  
西川 美智枝(柳井市)  
よろしくお願いたします。

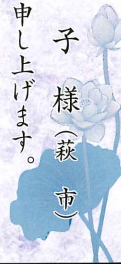


## お知らせ

令和二年度の研修会及び地域交流会は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、中止とさせていただきます。

## 訃報

磯部 住子様(萩市)  
謹んでお悔み申し上げます。



## 「鈴の会」会員募集

「鈴の会」の会員数は令和二年十二月末現在九十五名です。皆さんの身近なところに在宅保健師がおられましたら会の活動の楽しさを伝えてください。入会希望の方、活動に興味のある方がおられましたら事務局までご連絡ください。

## 編集後記

「二〇二〇東京オリンピック」  
：新年を迎えた時、ワクワクしました。ところが、二月になると連日のコロナ報道で不安感は一変しました。コロナ対策に奔走している保健師の姿に現場の厳しさを観ることができ、ウイルスがいる前提で新しい日常に向き合う必要性を思いました。

暑かった夏が過ぎようとしている九月に、半年遅れで第一回広報委員会を開催することができました。コロナ禍の中、一同に集うことは困難ですが、会報二十六号を今年度内に皆様に届けることができ、嬉しく思います。

(品川 豊美 記)

題字揮毫 初代会長 矢田部信枝

編集・発行

山口県在宅保健師会「鈴の会」  
(広報委員)

- ・ 三根 豊子
- ・ 渡邊 壽
- ・ 福嶋 啓子
- ・ 佐藤 むつ枝
- ・ 品川 豊美
- ・ 田辺 友子

(事務局)

山口市朝田1980番地7  
山口県国民健康保険団体連合会内  
TEL 083-925-7932  
FAX 083-934-3664  
(印刷)  
株式会社 山口県農協印刷